



週刊

前防衛副大臣

まこと
おにき誠



産業で平和な国を興す



8月になり、平和を考える機会が増えています。
終戦直前の日本において、制空権を握られた日本軍は、
B-29爆撃機を撃退するため戦闘機を開発しました。そ
の名は震電。いよいよ試験飛行に成功したという時に、
日本は終戦を迎えました。歴史にifはありませんが、
震電の投入がもう少し早ければ広島・長崎の原爆や福
岡大空襲は防げたのかも…と考えてしまいます。
その震電を開発した九州飛行機を前身とする、渡辺鉄
工株式会社さんを再訪させていただきました。防衛副
大臣の時に訪問して以来、ご縁あって二度目の来訪で
す。今回は私の先輩が経営する株式会社平和電興さん
のルーツを探る旅でした。

平和電興を創業した榎原正成さん(現社長の祖父)は、
九州飛行機のエンジニアでした。震電を完成させたも
のの日本は敗戦し、焼け野原が残されました。正成さ
んは、「この日本を電気の技術をもって再興し、平和
な国を作る!」との思いで平和電興を立ち上げられた
そうです。

私は防衛副大臣として日英伊共同開発戦闘機の開発に
携わりました。このプロジェクトは日本の平和を守り、
産業を振興します。九州飛行機、渡辺鉄工、平和電興
～往時の関係者の技術と思いを受け継いだ方々と、
今の時代を生きる責任を熱く語り合いました。



おにき誠政治塾 ONLINE

政治を学びたいあなたに送る、現職議員が発信する
政治の一次情報!

これまでリアルで開催していた政治塾を、ONLINE配
信に切り替えて全国に発信します。

怪しい情報が世に溢れる中、より正確な情報を発信し、
国民と政治の情報格差を埋めていきます。政治を学びた
い人、政治家を志す人、ぜひご覧ください。

今月のテーマは「自民党の70年を反省してみた」

明日8/10(日)18:00に第53講を配信いたします。

おにき誠 政治塾 Online

【今月のテーマ】自民党の70年を反省してみた

第53講

日本の戦後を 作った自民党



2025年8月マンスリーテーマ:

自民党の70年を反省してみた

第52講: そもそも自民党はどんな政党か?

第53講: 日本の戦後を作った自民党

第54講: 失われた30年と自民党

第55講: ウイングを広げ過ぎた自民党

第56講: 外国人政策と自民党



こちらのQRコードからご視聴くださ
い。チャンネル登録、いいねボタンを
よろしくお願いします。